
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 161 号(2026.5.22)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 161 号をお届けします。

---第 161 号の目次-----

1 活動組織の活動紹介

☆八木山環境保全委員会（福岡県飯塚市）☆
農地維持活動や資源向上共同活動・長寿命化活動に加えて、獅子舞の継承や農業体験学習を実施し、地域のコミュニティ活性化に取り組んでいます！

☆諸磯小網代地区農地・水・環境保全会（神奈川県三浦市）☆
土地改良区と連携し、排水路の維持管理や農道の点検補修に取り組んでいます！災害発生時には協力して復旧作業に取り組み、防災・減災につながっています！

2 活動組織代表へのインタビュー

☆青木地区活動組織(富山県下新川郡入善町) ☆
会議運営や広報の工夫を行い、集落を越えて意見や情報を共有しながら、組織づくりをしています！活動組織の代表にインタビューしました！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆グリーンエコ新組広域協定（新潟県長岡市）☆
写真を多く掲載し、グラフの活用など内容理解を深めてもらえる工夫をしています！

4 令和8年度5～7月の多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！

【編集後記】

■ 1 活動組織の活動紹介 (1) ^{やきやま} ~八木山環境保全委員会 (^{いいつか} 福岡県飯塚市) ~ ■

～ 地区概要 ～

本活動組織は福岡県飯塚市の北西部に位置し、龍王山北部の標高約 250m の山間農業地域に属する盆地地域で活動しています。

水資源に大変恵まれており、盆地特有の寒暖差を利用した県認証米でもある良質なコシヒカリ「八木山コシヒカリ」の生産や、リンゴ狩りができる自慢のリンゴを栽培しています。

本活動組織の活動範囲は、田 38.62ha、畑 7.02ha、ため池 4か所、農道 7.2km、水路 16.3km となっております。



伝統文化獅子舞の継承

～ 主な取組 ～

◎ 本活動組織は、草刈り・泥上げ等の農地維持活動や、農用地法面の初期補修・未舗装農道の舗装による農道更新等の資源向上共同活動・資源向上長寿命化活動の基本的な活動に加え、多面的機能の増進を図る活動として、昔から伝わる奉納行事である獅子舞の伝統文化を児童へ継承しています。



田植え体験学習

◎ 啓発・普及活動として学校教育等との連携を図り、児童ら地域住民に対して田植え・稲刈り体験学習等の活動を実施し、このような活動を地域へ周知するとともに、地域コミュニティの向上につなげています。



児童による水鳥の観察

◎ 農村環境保全活動では植栽活動のほかに、児童への生物の生息状況の把握として水鳥の観察を実施し、水鳥を含めた自然界における生き物たちと共存できる環境を体感させるとともに、環境保全の大切さや重要性を再認識してもらっています。

【八木山環境保全委員会】

編集担当 SDGs コメント

獅子舞の伝統文化を児童へ継承する取組は、地域の文化を振興・保護する活動であり、目標8「地域における所得向上や雇用の確保を図る。」及び、目標11「住み続けられる地域をつくる。」に貢献しています。

また、田植え・稲刈り体験学習等を児童ら地域住民に実施する取組は、地域住民等の理解を深めるための啓発・普及を図る活動であり、目標4「地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。」に貢献しています。

さらに、水鳥の観察による生物の生息状況の把握を児童に実施する取組は、生物多様性保全のための活動であり、目標15「地域における生物多様性を保全する。」に貢献しています。

これからも、獅子舞の伝統文化の継承、田植え・稲刈り体験学習、水鳥の観察等の取組が継続され、地域コミュニティの向上に繋がることを応援します。



■ 1 活動組織の活動紹介

～^{もろいごあじろ}諸磯小網代地区農地・水・環境保全会(神奈川県^{みうら}三浦市)～

～地区概要～

諸磯小網代地区は神奈川県三浦市の西部に位置し、海と山の豊かな自然環境に恵まれた地域で活動しています。

活動範囲は、畑 27.57ha、水路 1.5km、農道 10.2km です。

～主な取組～

- ◎ ダイコンやキャベツを中心とした露地野菜の栽培が盛んな地域で、土地改良区と連携して、排水路の清掃や農道脇の草刈りなどを行っています。
- ◎ 県営の農村振興整備事業により設置された畑地かんがい施設の給水栓や農道の点検補修を実施しています。
- ◎ 集中豪雨により、畑から土砂が流出し排水路等を閉塞した際には、重機等を借り上げ、共同作業により迅速に土砂撤去し、二次的な被害が減り、防災・減災につながっています。
- ◎ 活動組織の中に水路担当役員を設置し、構成員から出された様々な意見を役員が整理し、次回の共同活動に活かしています。

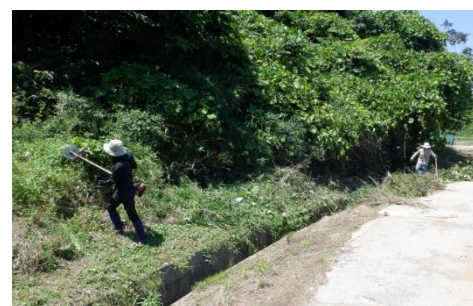
【三浦市農業協同組合土地改良対策室 深瀬】



活動開始前の打ち合わせ



水路の泥上げ



法面の草刈り

編集担当 SDGs コメント

農道や排水路等の維持管理は、目標2「持続可能な農業生産を支える。」に貢献しています。また、排水路の泥上げや農道の点検補修等を行うことは、目標12「持続可能な生産・消費を進める。」に貢献しています。

今後もこのような活動を通じて、農村環境の保全が図られていくことを応援しています



■2 活動組織の代表者へのインタビュー

あおき しもにかわ にゅうぜんまち
～青木地区活動組織(富山県下新川郡入善町)～

組織の概要

青木地区は富山県北東部の入善町にあり、昔から清流黒部川の豊富な水に恵まれ、水稻を中心とした農業で人々が暮らしてきた地域です。

本活動組織は多面的機能支払交付金を契機として、平野部の8集落で1つの活動組織にまとめ、対象施設は、農地 225.3ha、農道 14.0 km、水路 25.0 kmと、入善町では一番大きな組織となっています。

平成 26 年から活動を開始し、水路の泥上げ、草刈、景観形成（花街道プランター、芝桜）、防草シート、広報、水路への転落防止網の設置、水路補修、農道舗装などに取り組んでいます。

～インタビュー～

○話し手：青木地区活動組織

たかさわえい き
代表 高澤英輝さん

○聞き手：富山県新川農林振興センター指導課 村井・鬼原

○実施日：令和 8 年 2 月 24 日

Q：組織を立ち上げたきっかけを教えてください。

A：多面的機能支払交付金を契機に、なるべくまとまって、多くの仲間と活動すれば、役員のみならず活動においての人手不足をカバーできるのではないかと、当初は青木地区の 7 集落で行っていた活動であります。途中からもう 1 集落入って 8 集落で行うことになりました。

Q：役員に就いたきっかけを教えてください。

A：60 歳で定年退職になり、一線を退いたことにより、余裕と自由が利くようになったことがきっかけです。

また「入善町広域働く婦人の家（青木公民館）」で入善町の会計年度職員（管理人）として働くことになり、地域との関わりに興味があったことも理由です。



代表の高澤英輝さん

Q：今の役員は何歳くらいの方が多いですか。また、役員は誰がどのように声を掛けて集められているのですか？

A：50歳代が1名と60歳代が7名の8名なので、60歳代がメインとなりますね。この8人は、この活動組織8集落の中から、各集落1人ずつ推薦をされています。役員の任期は2年ですが、再任は妨げません。

Q：代表として心がけている事を教えてください。

A：毎月1回の月例会では、きちんとテーマを決めて、次第を作っておくことです。

方向性を定めておくことで、意思の疎通を図るとともに、決定すべき事項を共通認識とし会議の進行がスムーズにいくようにしています。テーマは毎回3つくらいとしています。そのほか、役員が集落で聞いてきたことを共有したり、来年度に、予算的な制約がある中で、何をしていくか仕分けしたりもしています。



幹線水路溝畔の一斉草刈り

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：草刈りですね。特に幹線水路溝畔の一斉草刈りに力を入れています。それと、植栽（景観形成）です。プランターに花を植えて街道に並べたり、水路溝畔に芝桜を植栽したりしています。そろそろ、芝桜については株の更新をしたいと思っています。



住民一丸となった
プランター作り

Q：組織を運営する中で、苦労されていることはありますか？

A：8集落からなる大きな組織であるため、構成員が多いので情報の周知に苦労しています。そこで、当地区では広報誌の全戸配布はもちろんのこと、電子回覧板アプリ『結ネット』での案内やホームページでの情報提供に力を入れています。

Q：活動を行ってみてよかったことを教えてください。

A：8集落が同じ小学校の学区であることから、似たような年代の構成員はみんなが幼馴染で、日ごろから親睦を深めることができますね。



幹線水路溝畔を利用した
芝桜の植栽

Q：皆さんの伝えたいこと、これからやっていきたい活動はなんですか？

A：広い範囲で連携すれば、「役員のなり手」や「活動のアイデア・改善点の発案」、「構成員が多いことから新しい発想やチャレンジ」も可能になり、地域が活性化されます。相談できる・話し合える人がたくさんいる方がいい。少しでも『輪』が広がって後継にまわしていけるといいと思います。



みんなで回る
地域危険箇所の点検

編集担当 SDGs コメント

青木地区の取組からは、地域の人たちが世代を超えて協力し合い、持続可能な地域づくりを目指す姿勢が感じられます。「老若男女、地域のみんが参加するむらづくり」を目標に多世代間でのコミュニケーションを図ることは、目標 11「住み続けられる地域を作る。」や目標 17「パートナーシップで目標を達成する。」に貢献していると思います。

「少しでも『輪』が広がって、後継にまわしていけるといい」という代表の言葉からも、この地域が今後も多様な年代が活動に参加する元気な地域として活性化が図られることを応援します。



■3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

しんぐみ
～グリーンエコ新組広域協定(新潟県長岡市)～■

広報誌の概要

- 活動への理解を深めてもらうために、内容を工夫し広報誌を作成・発行しています。
- 平成19年度から毎年度発行し、参加集落の全戸に配布しており、令和7年度で第20号となりました。

～工夫しているポイント～

ポイント1 活動区分ごとの活動紹介

農地維持・共同・長寿命化の区分ごとに見開きで写真を多く使って紹介しています。

ポイント2 活動状況等を数値化・見える化

各集落の活動状況などを数値化し、グラフや表を使って見やすくしています。

ポイント3 小学校と連携した活動をアピール

子どもやその家族にも興味を持ってもらうために、毎年度、小学校と連携した活動を行っており、積極的に広報しています。



ポイント1 活動区分ごとの活動紹介

- ①農地維持 ②共同 ③長寿命化

グリーンエコ新組 20号

新組の資源・環境を守る活動

グリーンエコ新組 広域協定

① 農地維持活動

■施設の点検・年度計画の策定・泥上げ・草刈り・砂利敷・防塵舗装

施設の点検 計画の策定

水路の点検 水路の泥上げ

草刈り

砂利敷・不陸整生

「グリーンエコ新組広域協定」の活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。この活動は「多面的機能支払交付金」事業で、農業者と地域住民が農地、水路、農道などの地域資源の保全管理に関する活動を支援する、国の助成制度を活用するための活動です。今後も3つの活動を並せてまいりますので、引き続き積極的な参加をお願いします。

①「農地維持活動」水路・農道の草刈り、水路の泥上げ、農道の砂利敷・防塵舗装など
②「資源向上活動（共同）」水路、農道の軽微な補修・きめ細かい雑草対策（防草シート、抑草剤の散布）クリーン作戦、植栽による景観形成など
③「資源向上活動（長寿命化）」老朽化が進む水路等の補修、更新など

グリーンエコ新組 20号

新組の資源・環境を守る活動

② 資源向上活動（共同）

■水路・農道の軽微な補修・防草シート張り・抑草剤散布

水路の補修

水路の補修

防草シート張り

抑草剤散布

■環境保全（クリーン作戦・花植え・広報活動・田植え・稲刈り・生き物調査）

クリーン作戦

花植え

4 5

新組の資源・環境を守る活動

③

資源向上活動(長寿命化)



ポイント2 活動状況等を数値化・見える化

- ①参加者(農家・非農家)の割合をグラフで見やすく
- ②生き物調査結果をイラスト付きの表でわかりやすく



② 生き物調査記録 (百束町揚水調整池: R4~R7)

○ 国内在来種 ★ 新潟県絶滅危惧種(国内在来種) ● 国内移入種
● 外来種(国外移入種) ■ 特定外来種(国外移入種) ● 農点対策種

No.	生き物の種類	R4.9.2	R5.9.1	R6.9.6	R7.9.6
1	オイカワ (関西原産)	● 激増	● 激増	● 激増	● 激増
2	タモロコ	○ 激多	○ 激多	○ 激多	○ 激多
3	モツゴ	● 激増	● 激増	● 激増	● 激増
4	ヒガイ (関西原産)	● 激多	● 激多	● 激多	● 激多
5	カマツカ			○ 1	○ 2
6	コイ	● 5 (大型魚)	● 7 (大型魚)	● 10 (大型魚)	● 10 (大)・9 (小)
7	イロゴイ	● 1 (異色90%)			
8	ニゴイ	○ 3	○ 15	○ 増加	○ 減少
9	キンブナ				
10	ヤリタナゴ★ 2017年絶滅危惧種	★ ゼロ 大激減	★ ゼロ 大激減 (2年連続)	★ 激増加 (成魚少)	★ 大激減 1
11	タイリクバラタナゴ (中国原産)	● 10 大減少	● 減少 (幼魚)	● 激減 (成魚・幼魚)	● 増 (成魚・幼魚)
12	カネヒラ (関西原産)	● 1 (成魚 若い1-2匹)	● 1 (成魚 8歳前後成長)	● 1 (成魚 8歳前後成長)	● 大激増 (成魚 8歳前後成長)
13	ドジョウ		○ 1		
14	シマドジョウ				
15	ナマス				
16	オオクチバス (北米原産)				
17	コクチバス (北米原産)		■ 5 (幼魚)	■ 1 (成魚)	■ 1 (幼魚)
18	ヨシノボリの一属(旧トウヨシノボリ)	○ 3	○ 5		○ 1 (♀)
19	シマウキゴリ	○ 1		○ 1	○ 3
20	ウキゴリ	○ 1			
甲殻類	1 スジエビ	○	○	○ 少	○ 少
2 アメリカザリガニ (北米原産)	■ 減少	■ 減少 (小型幼体)	■ 1 (♀)	■ 1 (♀) 目撃	
貝類	1 マシジミ (タイワンシジミ・外来種)				
2 イシガイ	○ 6 (白化稚貝)	○ 減少 ゼロ (死骸)	○ 激減 (産卵後5日)	○ 激増 (産卵後14日-17日)	
3 ドブガイ(タガイ)	○ (生貝)	○ 減少 2 (2022-産卵後)	○ 激減 (産卵後5日)	○ 激増 (産卵後14日-17日)	
4 オオタニシ		○ ゼロ			
5 ヒメタニシ	○ 激多		○ 激多 大増	○ 激多 大増	
6 マルタニシ★					
7 カワニナ	○	○ 激減	○ 1 激減	○ 激減	
8 サカマキガイ					
その他	1 ニホンアマガエル	○ 1	○ 2		
2 ツチガエル					
3 ウツガエル (北米原産)		■ (幼生多数 産卵1-産卵後)	■ (幼生1 産卵後)	■ (幼生1) 目撃	
4 スッポン		○ 1 (幼体)	○ 目撃 (30cm)	○ 目撃 (30cm)	
5 オオヤマトンボ		○ 4			
6 ギンヤンマ		○ 1			

ポイント3 小学校と連携した活動をアピール 地域のみなさんから興味を持ってもらうため、積極的に広報

田植え・出前授業

5月21日(水)出前授業と題して、5年生に米作りの作業と稲の成長について、説明を行いました。
5月23日(金)地域の方より苗の植え方を教わりながら、田植え作業を体験し、泥んこになりながら楽しんで植え付けし、先生方、地域の方、JA、コミセンの方より支援を頂き短時間で終わりました。



子どもたちを育む豊かな体験！

新小小学校長 藤ノ木 美花
「この魚は、おいどころが好きなかな?」「この魚は、…」と貯水池で捕まえた魚を学校で飼育すると、子どもたちは魚の種類や生育する環境など飼育しながら感じることから調べたり、次の学びにつながっていきます。学ぶきっかけは様々ですが、学び続ける原動力は、「体験」にあります。毎日食べられているご飯が、田植えから稲刈り、乾燥と手間をかけて食べられるようになる過程を少しでも体験することは、食べられることに感謝することや、手間をかけてくれた人への感謝につながるものと考えます。「知育」お米はどのようにして作られるのか学ぶ。魚はどのような環境が適しているのか学ぶ。「徳育」活動を通してたくさんの人とふれあい、手ほどきを受けることと感謝の心を学ぶ。「体育」貯水池に入り魚を捕まえる。田植え、稲刈り、稲架掛けをする。グリーンエコ新聞の皆さんと一緒に子どもたちを育むことができます。

小学校との連携活動 伝統的な田植え・稲刈り



おにぎりマクネット

稲刈り

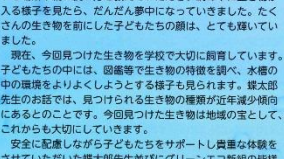
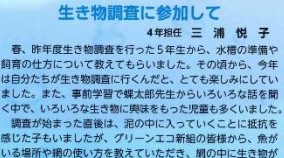
9月24日(水)5年生いざ稲刈りへ。
当日は青空で稲刈り日和の中、先生方、地域の方、コミセン、JAの方と一緒に稲刈り作業「刈る・まるける・運ぶ・かける」を体験しました。後日、子供たちから本部の役員が感謝の会に招待され、収穫したお米のおにぎりや豚汁を作ってごちそうしてくれました。食後は、子どもたち手作りのランプでババ抜きなど、楽しい時間を過ごしました。



充実した稲作体験

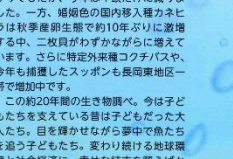
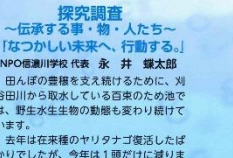
5年担任 武川 亮平
5年生は総合の学習で、食についての学びをテーマに学習をスタートさせました。社会科の学習やグリーンエコ新聞の方の出前授業で稲作について学び中、次第に米作りに興味をもつようになりました。
5月の田植えでは、植え残さないように、苗が倒れないように、グリーンエコ新聞の皆さんに丁寧に教えていただきながら、楽しく体験ができました。また、手作業の楽しさと大変さを実感することができました。
9月の稲刈りでは、鎌の扱いから、収穫した稲の縛り方まで教えていただきました。また、はしご高い箇所にする稲架掛けの体験もさせていただきました。子どもたちは大きな達成感を味わうことができました。
収穫後には、いただいたお米を使って親子でおにぎり作りをしました。自分たちが田植えと稲刈りした新米の味は、まさに格別でした。親子みんなの笑顔がうれしかったです。田んぼに囲まれた新小地域に住む子どもたちですが、米作りの体験をしたことはほんとうになかったため、忘れられない学びになりました。グリーンエコ新聞の皆様には伝統的農法での稲作という貴重な経験させてください。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

9月9日(水)百束町の湧水機場貯水池で生き物調査を行いました。生き物調べを始めてから今年で19年目となります。新小小学校の4年生、先生方、地域の方、コミセン、JA、福徳江土地改良区の方々から調査協力を頂き新小地区に生息する生物の特定を永井蝶太郎様よりご指導頂き、行いました。



生き物調査に参加して
4年担任 三浦 悦子
春、昨年度生き物調査を行った5年生から、水桶の準備や飼育の仕方について教えてもらいました。その頃から、今年は自分たちが生き物調査に行くんだと、とても楽しみにしていました。また、事前学習で蝶太郎先生からいろいろな話を聞く中で、いろいろな生き物に興味をもった児童が多かったです。調査が始まった直後は、池の中に入っていくことに抵抗を感じた子もいましたが、グリーンエコ新聞の皆様から、魚が入る場所や桶の使い方を教えていただき、順順に生き物が入る様子を見たら、だんだん夢中になっていきました。たくさん生き物を見つけた子どもたちの顔は、とても輝いていました。
現在、今回見つけた生き物を学校で大切に飼育しています。子どもたちの中には、図書館で生き物の特徴を調べ、水桶の中の環境をよりよくしようとする様子も見られます。蝶太郎先生のお話では、今回見つけた生き物の種類が近年減少傾向にあるとのことでした。今回見つけた生き物は地域の宝として、これからも大切にしています。
安全に配慮しながら子どもたちをサポートし貴重な体験をさせていただいた蝶太郎先生並びにグリーンエコ新聞の皆様には感謝いたします。ありがとうございました。

小学校との連携活動 生き物調査



探究調査
～伝承する事・物・人たちに「なつかしい未来へ、行動する。」
NPO徳瀬川学校代表 永井 蝶太郎
田んぼの豊穡を支え続けるために、刈田川から取水している百束のため池では、野生水生生物の動も変わり続けています。
去年は在来種のヤリタゴが復活したばかりでしたが、今年は1頭だけに留まりました。一方、稲刈色の国内移入種カネヒラは秋季産卵生体で約10年ぶりに激増する中、二枚貝がわずかながらに増えていきます。さらに特定外来種コクナシバス、今年も捕獲したスッポンも長岡東地区一帯で増加中です。
この約20年間の生き物調べ。今は子どもたちを支えている昔は子どもだった大人たち。目を輝かせながら夢中で魚たちを遊ぶ子どもたち。変わり続ける地球環境と社会経済に、幸せな結末を願うばかりです。感謝再拜



生き物調査記録 (百束町湧水機場貯水池[R4-19])

No.	生き物の種類	調査日			
		R4.9.2	R4.9.1	R4.9.9	R7.9.9
1	オイカワ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
2	タモロコ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
3	モツゴ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
4	ヒライ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
5	カマツカ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
6	コイ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
7	イロゴイ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
8	コイ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
9	モツゴ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
10	ヤリタゴ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
11	タモロコ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
12	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
13	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
14	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
15	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
16	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
17	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
18	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
19	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
20	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
21	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
22	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
23	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
24	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
25	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
26	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
27	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
28	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
29	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
30	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
31	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
32	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
33	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
34	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
35	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
36	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
37	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
38	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
39	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
40	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
41	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
42	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
43	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
44	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
45	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
46	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
47	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
48	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
49	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹
50	カネヒラ (国内産)	◎1匹	◎1匹	◎1匹	◎1匹

編集担当 SDGs コメント

地元の小学校と連携し、次世代を担う子どもを対象に実施する伝統的な田植え・稲刈りの実施や生きもの調査は、豊かな自然環境に触れ、保全の重要性を学ぶ機会を設けることにあたり、目標 4「地域内外の人に質が高い教育、生涯学習の機会を提供する。」に貢献しております。また、各集落の活動状況等について集落内で広報を行うことは、目標 12「持続可能な生産・消費を進める」に貢献しております。今後も、地域内のコミュニティを形成し、豊かで美しい農村を次世代に繋げられるよう応援します。



■4 令和8年度 5～7月の多面的機能支払イベントカレンダー■

多面的機能支払交付金の情報発信として、本交付金に関する各地のイベントなどの日程をまとめたカレンダーを作成しました。ぜひ、ご活用ください。

本メルマガ掲載以降、イベントの情報が更新される可能性があるため、詳細は問合せ先までご確認ください。

開催日	都道府県名	イベント名	主催者	備考
7月8日 9日	北海道	令和8年度農村振興パネル展	北海道農政部農村振興局設計課	多面的機能支払制度のPR (道庁ロビーにて展示や映像上映による事例紹介、パンフレット配布など) ・問合せ先 (011-204-5399)
7～8月	山形県	令和8年度多面的機能支払交付金に係る研修会	山形県推進協議会	・問合せ先 (023-647-8851)
7～11月	山形県	やまがたの棚田スタンプラリー2026	山形県	・問合せ先 (023-630-2495)

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは。ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか？私は、バーベキューや野外フェス、ハイキングなど外で過ごす機会が多く、充実した日々でした。

近年は暑くなる時期が早まっており、今年は特に5月下旬頃から気温が高くなるといわれています。まだ体が暑さに慣れていない時期でもあるので、こまめな水分補給を心がけ、無理のないようにお過ごしください。

いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。次回の投稿もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp



高めよう 地域協働の力！

----- 【発行】 -----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：小松原、内田）

TEL：03-3502-8111（内線 85640）
